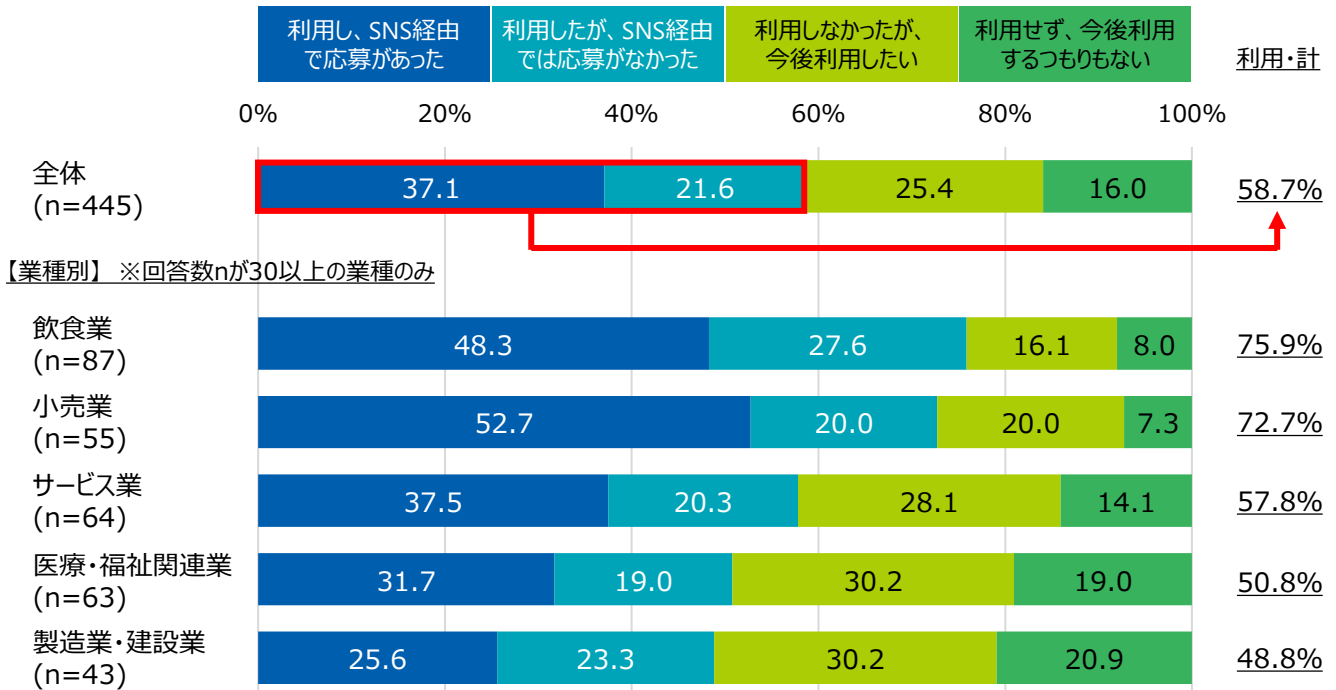


ジョブズコミュニティレポート 2023年11月号

「アルバイト・パート募集にSNSを利用」58.7%  
—医療・福祉関連業、製造業・建設業「今後利用したい」3割—

Q. 直近1年間（2022年11月以降）に、アルバイト・パートの募集でSNSを利用しましたか。



※「直近1年間にアルバイト・パートを採用していない」(n=33)を除く

今回はアルバイト・パートスタッフの募集におけるSNSの利用状況を、経営者や人事担当者に伺いました。「利用し、SNS経由で応募があった」37.1%、「利用したが、SNS経由では応募がなかった」21.6%となり、直近1年間（2022年11月以降）に計58.7%がSNSを利用したと答えました。

業種別では飲食業75.9%、小売業72.7%で利用が進んでいます。個人向けの飲食・小売店などで、宣伝・集客のためにすでにSNSを使っている、人材募集にも利用したなどのケースも考えられます。医療・福祉関連業や製造業・建設業は利用が少ないですが、3割が「利用しなかったが、今後利用したい」と回答しました。

求職者側の利用状況も見てみましょう。ジョブズリサーチセンターの調査で、仕事探しに利用した情報源を聞いたところ結果は以下の通りでした（詳細は次ページ参照）。

- 学生：最近1年間のアルバイト探しでSNSを利用したのは7.0%。今後利用したい学生は約1割、特に高校生14.5%で利用希望が多い。
- 女性：現在の仕事を決めた際にSNSを利用したのは6.7%。雇用形態別では正社員12.0%がもっとも多く、アルバイト・パートは3.8%。年齢別では18-29歳14.3%、30-39歳8.5%で若い世代ほど多い。

若い世代を中心に、仕事探しにSNSを利用する求職者は一定数いるようです。SNSでの人材募集は、企業にとっては自社アカウントをチェックしているファンや好意的な層にアプローチしやすいなどのメリットがあります。求職者にとっては日頃の投稿から職場の雰囲気や伝わりやすいこともあり利用されているのかもしれない。

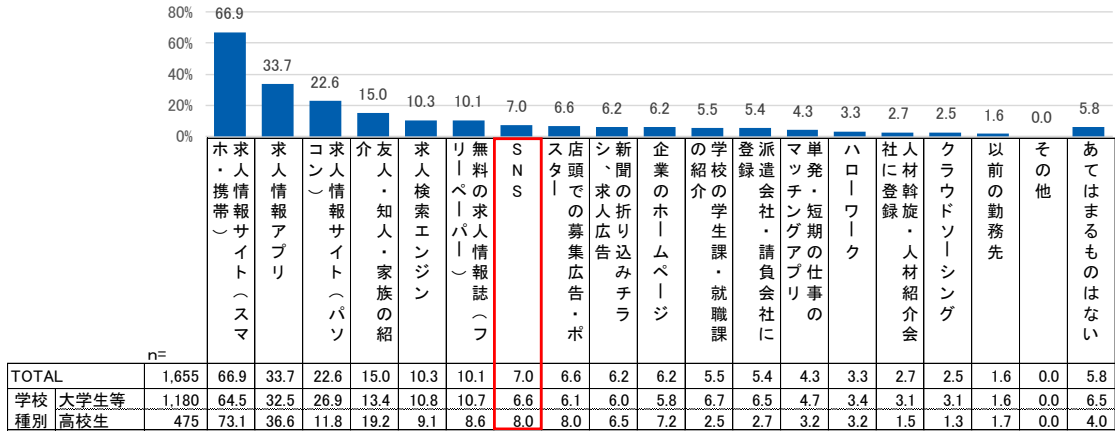
- アンケート実施期間：2023年10月20日(金)～10月26日(木)
- 有効回答数：478人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員（主な会員は経営者、人事担当者）

- 本レポートに関するお問い合わせ先 [jbrc@r.recruit.co.jp](mailto:jbrc@r.recruit.co.jp)
- その他のアンケート結果はこちらから [https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag\\_38.html](https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html)

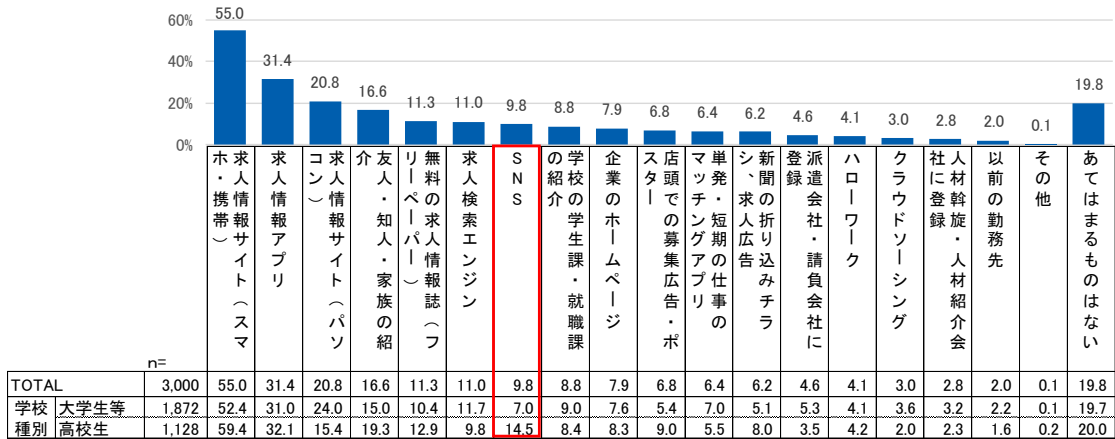
※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります

【学生】 <学生版> 求職者の動向・意識調査 2023

Q. 最近1年間（2022年1月～2022年12月）にアルバイトを探すときに、どのような情報源を利用しましたか。（複数回答）【対象：アルバイト探しをした人】



Q. 今後仕事を探すときに、利用したいと思う情報源はどれですか。（複数回答）【対象：全員】



【女性】 女性の就業に関する1万人調査2023

Q. 現在のお仕事を決めた際に利用した情報源・方法をお答えください。（複数回答）【対象者：最近1年間に入職、転職、ダブルワーク・副業を始めた者】

